



時事評論家 増田俊男

トランプ・バイデン最後の討論会

日本時間午前10時に始まったトランプ・バイデン討論会(ディベート)は11時半に終わった。

日本で同時放送だったので読者もご覧になったと思うが、私の印象ではバイデンの勝ちであった。

バイデンは準備周到であったがトランプはぶっつけ本番的なところが多かった。

肝心のバイデン親子のウクライナ関連共謀罪の疑いについてのトランプの追及は弱く、逆にバイデンにロシアの情報攻撃(Disinformation)だと言い切られ、トランプはロシアと関係し選挙を有利にしようとしているなど逆襲されていた。

バイデンは以前にも否定していたが今度またアメリカのシェール・オイル産業を廃止すると本当に思っていることを言ってしまった。

これでエネルギー産業が集中している南部の票を相当失うだろう。

2016年の選挙中に私がトランプ陣営にアドバイスした言葉を今度はバイデンがそっくりそのまま何度も使って「格」を上げることに成功した。

「私は民主党でも共和党でも又白人でも黒人でもない。私はすべてのアメリカ人の大統領を目指している」。

アメリカがあらゆる面において分裂が進んでいる時、最も適切かつ当を得た言葉である。

この言葉をバイデンが言う度にトランプは苦虫を潰したような顔をしていた。

バイデンの選挙資金のほうが圧倒的に多い中でトランプは残る10日でバイデンを叩き落とさなくてはならない。

実は先ほど(ディベートが終わった後)ワシントン DC のシンクタンクの社長から私が出した「民主党救済案」について話があり、提出前に話があるので自分と仲間と一緒にカンファレンスコールを明日(米国時間10月23日(金)午後3時)したいと連絡があった。

FBIは次男ハンターのPCを押収して調べているが、バイデン親子事件はロシア情報活動の一環にする為に「ロシアとイランが米大統領選挙妨害をしている」などロシア人とイラン人とアメリカ人個人とのメールのやり取りをロシア国家介入に仕立て上げてFBIの長官が発表するのだからPC内情報は握り潰されるだろう。

シンクタンクは Bannon 案実行前に「マスダさんならどうする」を聞きたいのだろう。

私の「民主党救済案」は考えようによっては「民主党壊滅案」でもある。

明日から日本は休みなので、月曜10月26日午前中に、多分 Bannon 案と同じ「マスダ・トシオのトランプ必勝の策略」を本誌と「増田俊男チャンネル」でお送りする。

従って本日の予定は26日に変更となります。

増田俊男の「目からウロコのインターネットセミナー」大好評配信中！

1ヶ月わずか約¥1,000！ご契約は1年単位になります

現在大好評配信中！「目からウロコのインターネットセミナー」！視聴期間はお申込み翌月より12ヶ月となりますのでお申込み月は無料でご視聴頂けます。1か月の平均配信回数は4~6回になります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: www.chokugen.com) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。